

U-16

ケースメソッド 演習「大学の研 究戦略立案」

モデレーター：金沢大学



コメンテーター：
池田雅夫
先生

大阪大学 大型教育研究プロジェクト 支援室 統括/シニア・リサーチ・マ ネージャー

1973年より神戸大学、1995年より大阪大学に勤務。工学研究科機械工学専攻教授、同副研究科長、大阪大学評議員等を経て、2010年大型教育研究プロジェクト支援室統括マネージャー・特任教授。2013年8月～2015年8月副学長（URA担当）。

計測自動制御学会、IEEE、日本機械学会のフェロー。2005年 計測自動制御学会会長。教育研究、管理運営の経験をURA業務に活かしている。



コメンテーター：
向 智里
先生

金沢大学 先端科学・イノベーション 推進機構 機構長

1981年から金沢大学に勤務。薬学部教授，薬学部長，医薬保健学域創薬科学類長を経て，2014年より理事（総括・改革・研究・財務担当）／副学長。有機合成協会評議員。薬学会理事。

理事/副学長と兼務で，URA組織 先端科学・イノベーション推進機構の機構長としてURAを統括している。

本研修テキストについて

- 文部科学省「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」（リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備）事業の一環

平成26年度に「中・上級者向け研究マネジメント人材養成プログラムの開発」

金沢大学・東京農工大学がそれぞれ教材を開発

http://www.o-fsi.kanazawa-u.ac.jp/SrURA_TrainingProgram/index.html

- 金沢大学は米国URA職能団体 SRA Internationalと共同で、大学の研究戦略に関するケース・メソッド演習用テキストを開発



平成26年度 文部科学省「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」
(リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備)

ケース・ディスカッション用テキスト 科目② 研究戦略立案 プログラム2

変化する環境における 戦略的研究マネジメント

執筆 : Ian Carter Ph.D, Mark Hochman Ph.D, John Westensee MS, Elliott Kulakowski Ph.D, MBA
翻案 : 金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構

平成27年3月

タイムスケジュール

- ① グループ討論 40分：4グループに分かれ，討論
- ② 発表 30分：発表 3分，質疑応答 4分
- ③ コメント・総括 15分：本物の副学長からのコメント 各5分
- ④ まとめ

本研修の狙い

米国のA大学

現行の研究戦略の再検討および見直しを行い、研究力強化のための実行計画を作成する

あなたはA大学の研究担当副学長

情報に基づき、A大学の研究戦略を再検討して必要に応じて見直しを図り、さらに、提供されている情報を考慮に入れて実行計画を作成する必要があります。

研究力強化のための「**戦略実行計画案**」を作成

- ◆ 今後5年間で研究に係る収益を2倍にするという目標を達成できるかどうか
- ◆ 国際的なランキングでトップ400の大学に入れるかどうか（現在500位以内）
- ◆ 研究戦略と実行計画をいかにして大学全体に周知徹底し、多くの教職員からコミットメントを得るか

グループディスカッション

- ◆ どのような戦略実行計画を作るか？
- ◆ その計画を、各観点から眺めるとどのようなものになっているか？

観点1. 戦略の立案

観点2. 連携の構築

観点3. 戦略の実行

観点4. モニタリング

グループでどの観
点に絞るか話し合
って決めてください
(1つか2つ)

【40分】

後で、ディスカッション内容をご発表いただきます

観点1.戦略 の立案

- 現在の政府の方針，財政支援状況や国際的な環境を考慮し，A大学の研究力について分析し，現行の研究戦略について検討する。
長所と短所はなにか？
どこを変更する必要があるだろうか？
どのように，どうやって変更したらよいだろうか？
- 自分で作って見た研究戦略の実行計画案は，政府が公開している重点支援分野の研究力強化につながるものになっているだろうか？
- その実行計画案は，国際ランキングの順位を上げることにつながるだろうか？ 評価指標と比較し，問題ないと言えるだろうか？

観点2.連携 の構築

- 研究戦略を実行する上で必要となる学内での連携には、どのようなものがあるだろうか？
その連携は、いかにして構築すべきだろうか？
- 研究戦略を実行する上で必要となる教育研究機関等との連携には、どのようなものがあるだろうか？
その連携は、いかにして構築すべきだろうか？
- 産業界や政府機関，地域社会との連携を構築する際に鍵となるのは、どのような取組みだろうか？

観点3.戦略 の実行

- A大学のマネジメント体制について検討する。マネジメント人材を新しく入れる必要のある組織等はあるだろうか？
- 部局長たちがあなたの研究戦略を支持し、確実に取組むようにするためには、どうしたらよいだろうか？
- あなたが作成した研究戦略案に掲げた目標を達成するために、年間12億1千万円の学内自由裁量経費、5ヶ年分をどのように投資するべきだろうか？
- URA執務室および研究推進部、さらに他の事務組織は、新たな研究戦略を実行するうえで、どのような役割を担うことになるだろうか？ 彼らがこれまで担当してきた業務との違いはなんだろうか？

観点4.モニタリング

- 目標達成に対する評価基準, および指標は, どのようなものにしたらよいだろうか?

指標の達成度はどのように評価して行くべきだろうか?

発表

各グループのディスカッション内容を発表

- ◆ どのような戦略実行計画を作るか？
- ◆ その計画を、各観点から眺めるとどのようなものになっているか？

【発表 3 分 + 質疑応答 4 分】

総括

コメンテーターからの
コメント